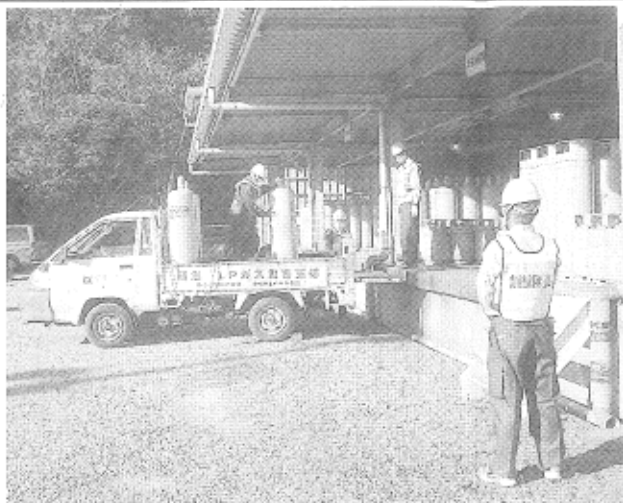


# 地震想定 七尾国備受け入れも 愛知県協第四地域中核訓練

愛知県LPガス協会中(省司委員長)は17日、2核充填所等委員会(水野 021年度の第四地域中



2年ぶりに行った訓練。あみや商事新城充  
填所で連絡、発電、充填などに取り組んだ

核充填所防災訓練を新城市のあみや商事新城充填所で実施した。昨年は台風で中止、2年ぶり7回目となった今年の訓練はコロナ感染対策で規模を縮小。会場では県内各支部の訓練員が参加した。中部経済産業局、愛知県防災安全局の担当者や業界関係者が来場。第四地域から高山、石川、岐阜、三重の各県協会長らがりモート参加し総勢62人が実働・見学した。冒頭、災害対策本部長を務める石原克典副会長が「愛知県は南海トラフ巨大地震がいつ発生してもおかしくない地域。きょうは緊急事態発生時に

石原克典氏



中核充填所が県内の他地域とどう連携し、充填所設備をどのように動かすのかしっかりと訓練してほしい」と呼びかけた。訓練は三重県南方沖を震源とする最大震度7の大規模地震が発生し、東海地方中心に建物崩壊や津波被害が発生したと想定。情報伝達訓練からスタートし、愛知県や瀬戸市、愛知県協に設置した災害本部と新城充填所を衛星電話でつなぎ、避難所に炊き出し用のLPガス供給を指示。他県連携訓練では近隣の三重、岐阜への被害拡大を想定し日本海側で比較的被害が

少ない石川県協への支援要請などを確認した。非常用ガス発電設備訓練は充填所敷地内の200kW用54kWと1000kW用20kWの発電機2基を稼働、国家備蓄受け入れ訓練は第四地域国家備蓄基地の石川県七尾基地を出発した10トローリを想定して実施。他社容器充填訓練は共通バーコード読み取り、新城市の避難所へのLPガス供給は地元のサーラE&L東三河の配送車で50kg容器を運んだ。閉会式で石川浩二・中部経済産業局資源エネルギー環境部燃料課長補佐は「災害対策強化の観点から非常に多い訓練だった」と講評した。りモート参加の東狐光俊・富山県LPガス協会長は「第四地域は太平洋側と日本海側が数百キロに及

ぶ広いエリア。日ごろからコミュニケーションを取り訓練を重ねる必要がある」と述べた。